

(株) IN HER SHOES 放課後等デイサービス インハーシューズ

三重県松阪市宮町 237
グランマツサカ 1 号室

代表取締役 **大内 一馬**

×

ゲスト **野村 宏伸**

(2019年3月取材)

管理者の山本忠司氏（写真左端）を交えて



子どもたち一人ひとりの長所を伸ばし、 「生きる力」を養えるよう導きたい

——まずは、大内社長の歩みから。

将来、祖父母の介護で役に立てればという思いから介護の知識を得たくて、高校で介護を学び、卒業後は介護業界で働くようになりました。しかし腰を痛めてしまい、22歳で手術を受けまして。介護の仕事が続けることは難しくなり、別の道を考えていた時に、紹介で整骨院を経営する方を紹介していただきました。その方のもとで5～6年修業を積み、5年ほど前に整骨院を開業して、現在も続けています。その傍ら、放課後等デイサービスを始めたんです。

——それは、どういったお考えから？

障がいのある子どもたちを対象にした放課後等デイサービスについて教わる機会があり、興味を持って、立ち上げに踏み切りました。というのも、私の甥と姪が発達障害でして、それも大きなきっかけです。ただ、放課後等デイサービスの立ち上げには、必ず児童発達支援管理責任者の資格を持っている人が必要で、以

前からの知り合いである山本さんにお声がけしたところ快諾して下さり、管理者をお任せしています。共に事業に取り組んでくれる人がいて、助かりました。

——良きお仲間を得られたようですね。社長にとって、どんな施設が理想ですか。

子どもたちが色々なことを体験する中で良いところを伸ばし、社会に適応できる最低限のルールを学びながら、「生きる力」を身につけてもらえる。そんな施設が理想ですね。

——預ける親御さんも安心されたいと思います。今後については、いかがですか。

デイサービスの利用が18歳で終わったその先、就労をサポートできるよう、就労支援施設やグループホームも立ち上げたいですね。また、将来的には世界各国で苦しんでいる子どもたちをサポートしたい。学校のない地域に学校をつくって、教育を受けられるよう支援するのが夢で、国内外で子どもたちの成長を見守っていきたいです。